

毎月1回、ビジネスのお役にたつ情報をおとどけいたします。



U-mic News

ユーミックは、さまざまな得意分野を持つ
コンサルタントが集まったスペシャリスト集団です。

Vol.1

Monthly voice

「はやぶさ」は私たちに、いろいろなことを教えてくれましたね。

2010年6月13日、日本の小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還しました。エンジンの故障や通信の途絶など、幾多のトラブルを乗り越えながら、7年の歳月を重ねて帰還し、最後は流れ星となって燃え尽きたその姿に感動した方も多かったようです。月より遠い天体を往復したことは世界初ですし、小惑星の微粒子が回収できていれば、これも世界初の偉業となります。これらの偉業を支えたのは、日本が得意とする、きめこまやかな設計と省エネ技術だと言われています。システムが故障するトラブルがあっても、別システムのシステムで補えるよう何重にも備えた設計に、効率的なイオンエンジンの開発。トラブルを乗り越えたのは偶然ではなく、備えによる必然だったのです。中小企業の経営にも同じことが言えるのではないのでしょうか？ 企業経営は7年より長い歳月の取り組みです。時にはトラブルが発生します。トラブルの発生を予測しそれに備えること、効率的な経営の仕組みを確立することが長く企業を存続させるポイントになります。また、はやぶさの成功の陰には、研究機関の研究者やスタッフが、設計開発から打ち上げ、運行に至るまで、きめ細やかなサポートを行ったことがあります。私も中小企業を支援する立場の人間として「はやぶさ」の成功のように、中小企業の成功に貢献できるよう、精一杯サポートしていきたいと考えています。（渡貫 久）

Monthly Book review

『愚直に積み！ キャピタリストが語る経営の王道・99』 辻 俊彦（著）



東洋経済新報社
¥1,680

ベンチャーキャピタリストである著者は、ベンチャー企業はとにかく「やり切る」という重要性を説いています。

「目標設定する目的は、目標達成にあるのではなく、現状とは異なる行動を喚起していくことにある」「リスクはその場で対処しないと蓄積するが、チャンスはその場で活かさないと保存できない」など行動するの大切さを伝える一方で、「悪いことは構造的な要因に基づく出来事、良い事は偶然の出来事」などベンチャー企業に限らず、老舗であっても示唆に富む内容も数多く盛り込まれています。私も事業計画の策定の際には、今日明日からでも実行でき、やり切れるようなアクションプランを盛り込むようにしています。また、企業によっては、その行動を定期的にチェックし、時には見直すようなサポートもしております。（吉田 英憲）



製造業の視点で、サービス業を見ることも
大事なのではないかと思っております。

吉田 英憲
Yoshida Hidenori

大手電機メーカーでITソリューションの営業、市場調査、経営企画などの業務を経験。現在は、ビジネスプランの作成支援の他、採算分析を踏まえた赤字企業の立て直し、業務効率化(IT活用含む)、後継者の立場に立った事業承継などの支援を行なっている。中小企業診断士 行政書士

小倉 綾
Kokura Aya

百貨店に入社後、仕入、販売や在庫管理販売促進の企画、運営、販売員教育業務や首都百貨店とのコラボレーションショップ店長として新規ショップ立ち上げを経験。現在、流通業やメーカー向けに販売促進や売場改善を中心としたコンサルティングをおこなっている。中小企業診断士